

お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)
禁止	器具を布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)
禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの	
禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。 (火災・感電の原因)
禁止	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。 (過熱して火災の原因)
厳守	器具は指定の制御装置と組み合わせて使う。 (過熱して火災の原因)
厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。
厳守	光を直視しない。(長時間直視すると目を痛める原因)
●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。 ※使用条件は周囲温度 30℃、1日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯です。	
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。 ●3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。 ●点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。	

器具の取扱い

- テレビ、ラジオなどの音響機器や、赤外線リモコン、ワイヤレス機器などに、雑音や動作不良を起こす場合があります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
- 放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

器具の清掃

⚠ 警告 電源スイッチを切ってから行う (感電の原因)

<器具のお手入れについて>
器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

<カバーのお手入れについて>
カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。

⚠ 注意
点灯中及び消灯直後の器具には触らない。(高温のためやけどの原因)

知っておいていただきたいこと

- 点灯、消灯時にカバー、反射板の収縮・膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。
- 連続調光の下限域で使用する場合、器具ごとの明るさがばらつくことがあります。予めご了承ください。
- 誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百 kHz の誘導無線(同時通訳システム)及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので事前確認することをおすすめします。
100V 電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

お願い

- LED素子にはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- LED光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換ください。
- 壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、器具内蔵の点灯回路は3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

異常時の処置

⚠ 警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

三菱電機株式会社 〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
三菱電機照明株式会社 ☎(0467)41-2729 (営業本部)
連絡先 ☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)



このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

E769Z483H22

保管用

三菱LED照明器具

マルチグリッド システム天井用 [5～100%連続調光形]

本器具は光源寿命末期まで、常に標準出力モードの約86%の光束を維持する様設計されています。

形名 **EL-G3505ANM AHTJ EL-G3505AWM AHTJ (600×600モジュール)**
EL-G3515ANM AHTJ EL-G3515AWM AHTJ (600×600モジュール)

取扱説明書 ○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
○電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

- 施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠ 警告、⚠ 注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

⊘ 絶対に行わないでください。 ⚠ 必ず指示に従って行ってください。

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
禁止	引火する危険のある雰囲気を使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない) (火災の原因)
禁止	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)
禁止	断熱材、防音材をかぶせて使用しない。(火災の原因)
禁止	器具同士を隣接(縦、横、斜め)させない。Tバーの許容荷重超過による落下の原因となります。 (縦の連結することは、構造上もできません。)
禁止	電源線を器具の外郭に直接触れさせない。 (過熱して火災の原因)
厳守	施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。

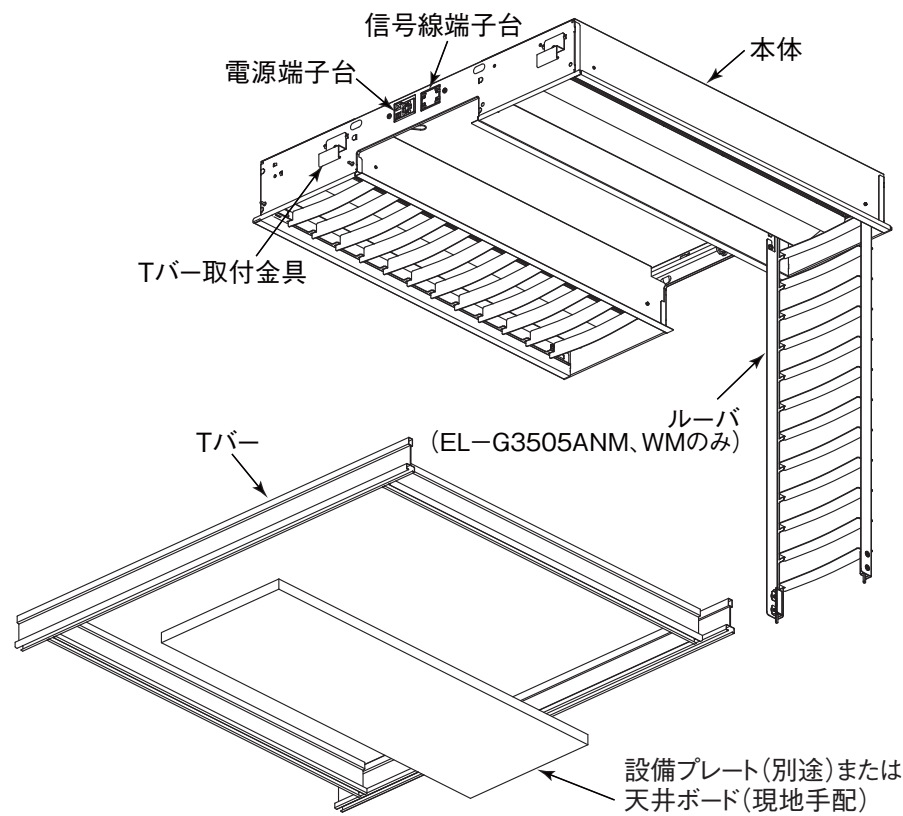
⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの	
禁止	高温(35℃を超える)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所では使わない。 (落下・感電・火災の原因)
禁止	さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所では使わない。 (劣化による落下の原因)
禁止	システム天井専用器具です。傾斜天井や竿ぶち天井、補強のない天井には取付けない。(火災・落下の原因)
禁止	一般屋内用器具です。屋外や風呂場など水気や湿気の多い場所では使わない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
禁止	雨水のかかる場所では使わない。 (水気・湿気が入り感電の原因)
禁止	器具の外郭を天井内の造営材・ダクトに触れさせない。 (火災・感電の原因)
禁止	表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障となります。 (火災・感電の原因)
禁止	器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
禁止	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。 (過熱による火災の原因)

お願い

- 周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。
- 硫黄成分を含む温泉地など、腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性等に不具合が発生することがあります。
- 器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せるとチラツキや騒音の発生、電源ユニット故障の恐れがあります。リレー接点式人感センサスイッチをご使用ください。
- 油煙のある場所では使わないでください。(光学特性が低下する原因となります。)
- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- 電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200V電源をご使用の場合は両切スイッチを使用してください。スイッチを切っても微放電する現象の原因となります。

形名	定格電圧	周波数	標準出力モード						高出力モード					
			LED光源寿命(光束維持率95%時): 40,000h											
			入力電流			消費電力			入力電流			消費電力		
EL-G3505ANM, EL-G3505AWM	AC100-242V	50/60Hz	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V
EL-G3515ANM, EL-G3515AWM			0.31A	0.15A	0.13A	30.1W	29.8W	29.8W	0.42A	0.21A	0.17A	41.5W	40.8W	40.8W

各部のなまえと取付けた **警告** 器具の取付けは取扱説明書に従い行う (不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)



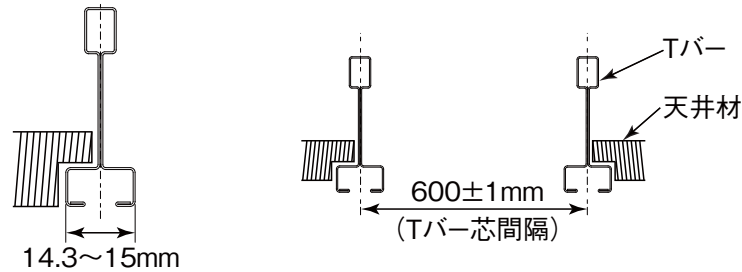
<上図はEL-G3505ANMを示す>

お願い

- 器具を立て掛けて床などに置かないでください。取付金具などが変形し施工できなくなります。
- 器具を取扱う時は、本体部分を均等に持ってください。片側のみで持つと器具が変形するおそれがあります。
- 器具の取付けは、ほこりが散乱している状態では行わないでください。

1 取付前の確認

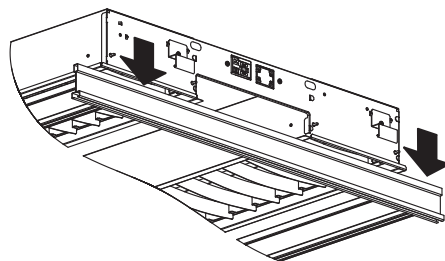
- この照明器具はマルチグリッド システム天井専用です。適合Tバー巾寸法とTバー芯間隔を事前に確認する。



警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける (落下の原因)

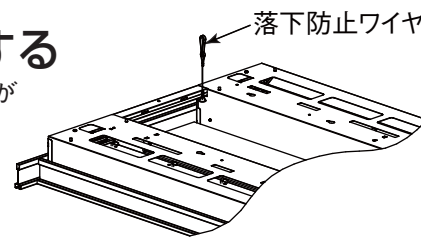
2 器具本体を取付ける

- 器具をTバーに確実に押し込む。



3 落下防止ワイヤを固定する

- この照明器具には落下防止ワイヤ(2本)が取付けられています。
- (1)ワイヤ先端のクリップを確実に躯体に固定する。
- (2)ワイヤにたるみがないように取付ける。



4 電源線を電源端子台に接続する

- (1)電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

警告

接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

- (2)アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

警告

アース工事は電気設備の技術基準に従い行う (アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

<D種(第3種)接地工事が必要です。>

- 電源端子台の容量は20Aです。
- 適合電線：φ1.6mm単線 φ2.0mm単線

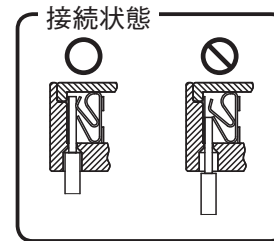
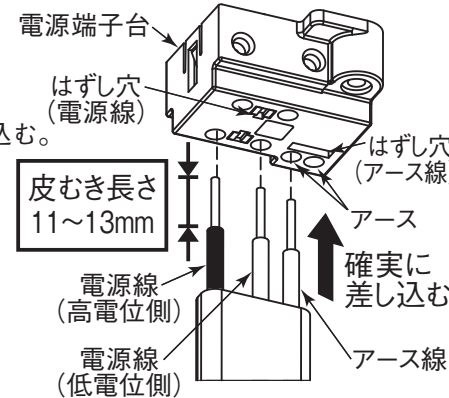
警告

送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する (容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

警告

電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)

- 電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。



5 信号線を信号線端子台に接続する

- 信号線を信号線端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

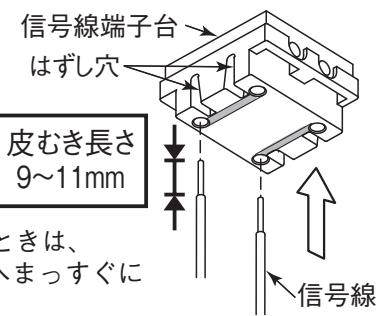
適合信号線 φ0.9mm~φ1.2mm
CPEV-1P

接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。

- 信号線端子台に接続された信号線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴へまっすぐに差し込んでください。

警告

信号線端子台には電源線を接続しない (過熱・損傷し火災の原因)

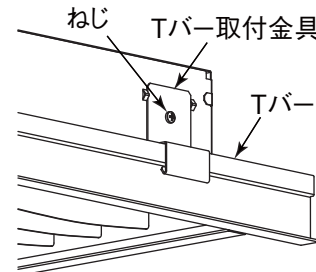


6 器具本体の取りはずしかた

- Tバー取付金具(4ヶ所)の固定ねじをゆるめ、Tバー取付金具をTバーからはずす。

警告

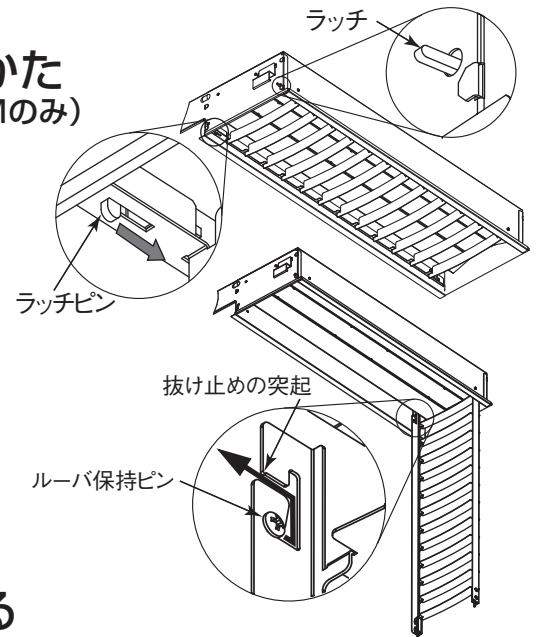
Tバー取付金具を器具本体より完全に取り外してしまうと落下の原因



7 ルーバのはずしかた (EL-G3505ANM、WMのみ)

- (1)ルーバを軽く押し上げ、ラッチピンをスライドさせる。
- (2)ラッチが外れるとルーバが開きます。
- (3)本体側のルーバ保持ピンからルーバを軽く押し上げ、右図の矢印の方向へ通してルーバ保持ピンからはずす。

- 抜け止めの突起があります。片側ずつ軽く押しはずしてください。



8 モードを設定する

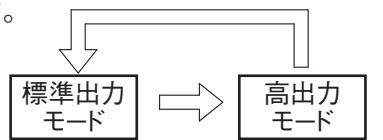
本器具は、壁スイッチ操作または、調光信号の制御により器具の光束を切替えることができます。

- ・標準出力モード
- ・高出力モード

- 出荷時は標準出力モードに設定しています。

- 点灯モード設定を切替える場合は、消灯状態で壁スイッチのON-OFF操作を3回繰り返してください。次の順番で点灯モードが設定されます。「標準出力モード」→「高出力モード」→「標準出力モード」

- 点灯モード切替完了のお知らせ (明るさの変化によりお知らせします)
 - ・標準出力モード：明るさが2回変化します。
 - ・高出力モード：明るさが1回変化します。



※壁スイッチの操作は、ON(1~2秒)-OFF(1~2秒)の間で行ってください。
 ※ON-OFF操作を繰り返した後は、最後のOFFから2秒以内に電源をONして、5秒以上点灯させてください。
 ※調光信号の制御にて切替える場合は、調光信号のON-OFF操作にて行ってください。

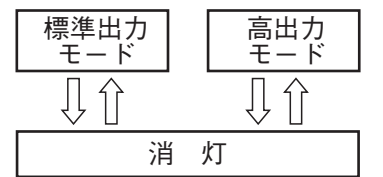
9 その他

- (1)メモリー機能

- 再点灯時は、消灯前の点灯モードで点灯します。

- (2)リセット操作

- 器具間の点灯モードが揃わない場合は、一度リセットを実施してください。
- リセットを実施する場合は、消灯状態で壁スイッチのON-OFF操作を4回繰り返してください。いずれの点灯モードからも標準出力モードへリセットされます。
- リセット操作の完了は、明るさの変化によりお知らせします。リセット操作後に明るさが2回変化すればリセット完了となり標準出力モードでの点灯状態を維持します。



※壁スイッチの操作は、ON(1~2秒)-OFF(1~2秒)の間で行ってください。
 ※ON-OFF操作を繰り返した後は、最後のOFFから2秒以内に電源をONして、5秒以上点灯させてください。
 ※調光信号の制御にて切替える場合は、調光信号のON-OFF操作にて行ってください。

- (3)点灯モードの確認

- 点灯モードの確認をする場合は、消灯状態で壁スイッチのON-OFF操作を2回繰り返してください。
 - ・標準出力設定時：明るさが2回変化します。
 - ・高出力設定時：明るさが1回変化します。

※壁スイッチの操作は、ON(1~2秒)-OFF(1~2秒)の間で行ってください。
 ※ON-OFF操作を繰り返した後は、最後のOFFから2秒以内に電源をONして、5秒以上点灯させてください。
 ※調光信号の制御にて切替える場合は、調光信号のON-OFF操作にて行ってください。

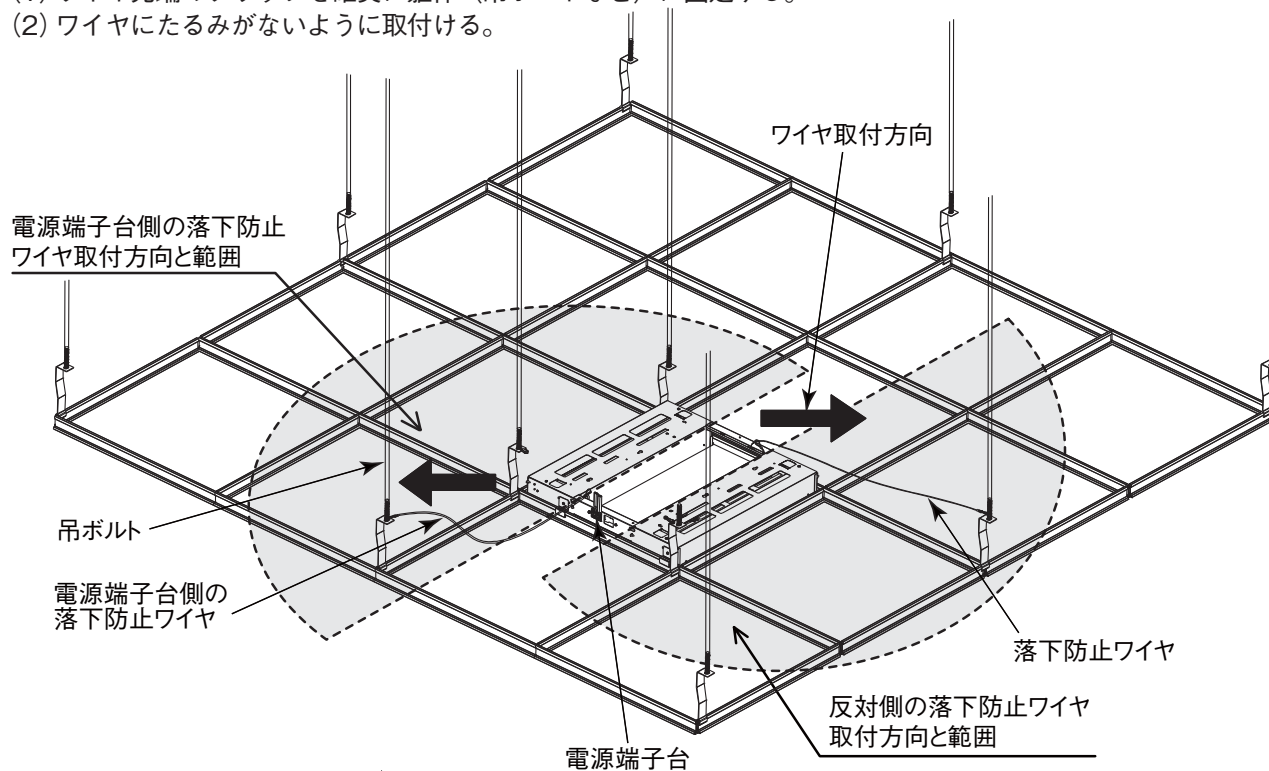
グリッド天井用器具 施工説明書

⚠ 警告 器具の取付けは取扱説明書及び施工説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

1 落下防止ワイヤの固定

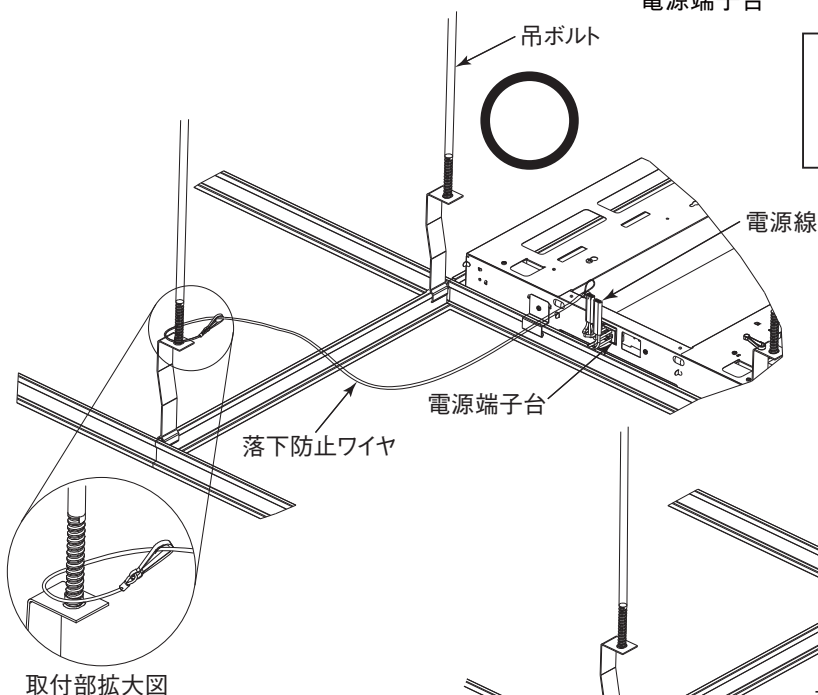
○この照明器具には落下防止ワイヤ（2本）が取付けられています。

- (1) ワイヤ先端のクリップを確実に躯体（吊ボルトなど）に固定する。
- (2) ワイヤにたるみがないように取付ける。

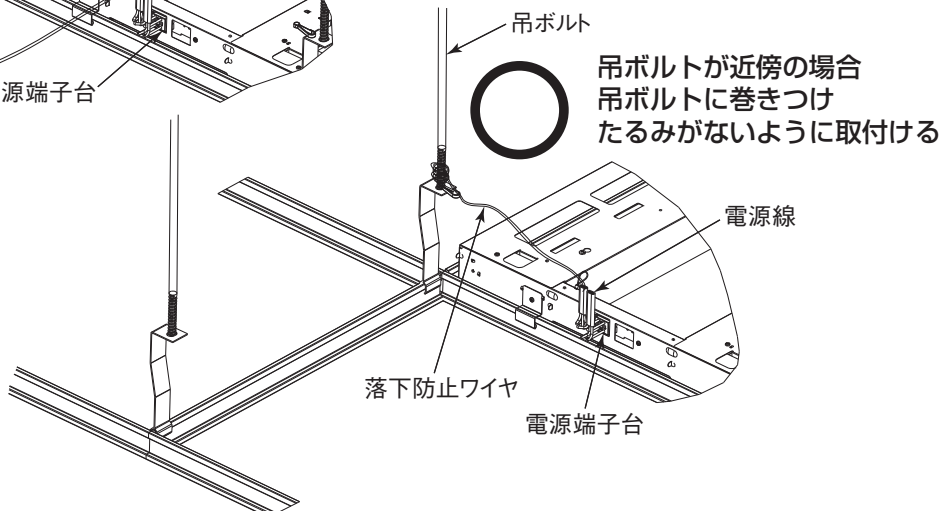


⚠ 注意

- 電源端子台に接続されている電源線と交差させない（火災・感電の原因）
- 電源線に触れさせない（火災・感電の原因）



取付部拡大図

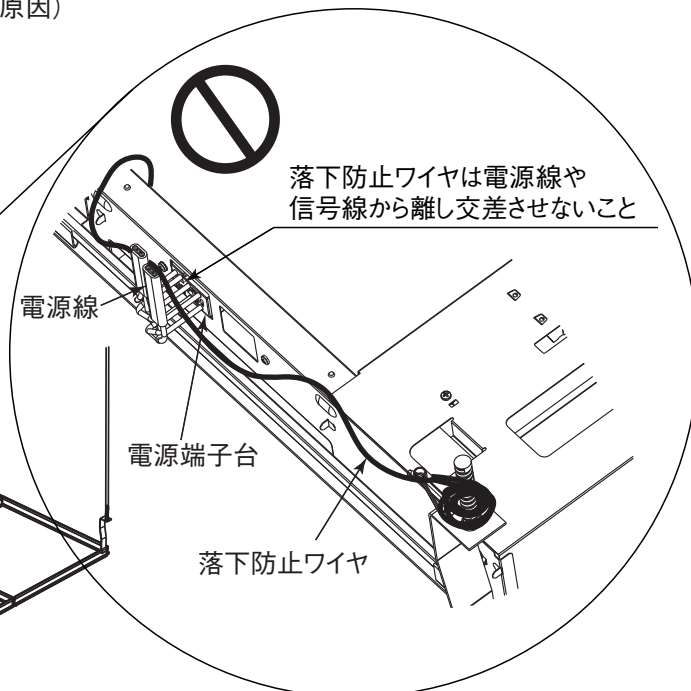
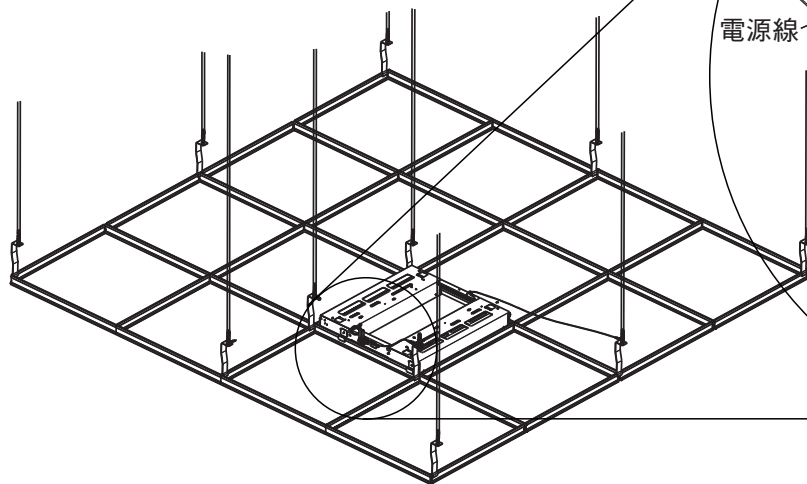


吊ボルトが近傍の場合
吊ボルトに巻きつけ
たるみがないように取付ける

⚠ **警告** 器具の取付けは取扱説明書及び施工説明書に従い行う
(不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)

⚠ **注意**

落下防止ワイヤを電源端子台や電源線・信号線
に触れさせない



2 電源線を電源端子台に接続する

(1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

⚠ **警告**

接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により
火災の原因

(2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

⚠ **警告**

アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

< D種(第3種)接地工事が必要です。 >

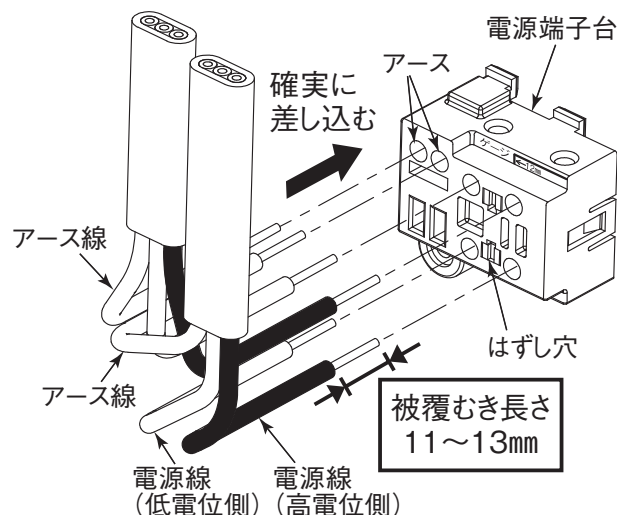
- 電源端子台の容量は **20A** です。
- 適合電線：φ 1.6mm 単線 φ 2.0mm 単線

⚠ **警告**

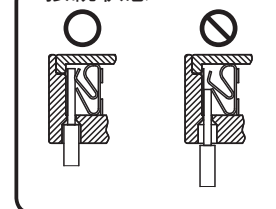
送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する
(容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

⚠ **警告**

電源の接続は適合電線の被覆を指定長さ (11 ~ 13 mm)
にむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む
(差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)



接続状態



(3) 電源線 (アース線) の挿入部は、Tバー・天井ボード等との当たりを防ぐため、電源端子台に
押し付けるように小さく曲げる。

- 電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、
はずし穴にまっすぐに差し込んでください。